

---

## 2015 ラグビーワールドカップ～イングランド（前編）

### 1. 国歌斉唱

God save our gracious Queen, Long live our noble Queen,  
God save the Queen: Send her victorious,  
Happy and glorious, Long to reign over us,  
God save the Queen.



2015年9月18日、大会開催に合わせて、ロンドンに旅立ちました。思えば4年前のニュージーランド、「次回はイングランドでジャパンの応援だ～！」なんて夢のように語っていたことが現実となりました。



イギリスと言えば、ラグビー発祥の地、ビートルズの原点、ブリティッシュトラッドというか紳士の国であって、世界標準が決まる中心地でもあります。ビッグベンにグリニッジ天文台、大英博物館にロンドン塔、ハリーポッターが hogwarts に旅立ったキングスクロス駅にパディントン・・・物価が高いのが欠点ですが、憧れの国で、世界最高のラグビー観戦です。



## 2. ブライトン(9月19日・南アフリカVS日本)

「ジャパン！ジャパン！」と大声援を受けて、南アフリカに歴史的な勝利。

日本の集中力が切れることなく、前半12対10で終えて善戦。五郎丸のキックは冴えているし、トンブソン・ルークも南アフリカのレジェンド・七色のヘッドキャップのマットフィールドに引けを取らない。ディフェンスも分厚く、最高の集中力でハンドリングエラーも少ないし、もしかしてもしかして・・・で後半に突入。



開始早々のPGが決まって12対13。「ここでノーサイドにしてケロ～！」なんて思ったらすぐにトライを返されて、弱気になるも、正確なPGを重ね、追いつけ追いこせで、ええ夢が続きます。

そんな状況から、南アフリカの走れるフッカー・ストラウスのトライで万事休す・・・「今日はこのくらいにしといたろ～！」というパターンで、後ろの南アフリカサポーターと「さすが、スプリングボックス。実力見せつけられましたわ。」と言葉が通じないから「ナイス・トライ！」と告げて固く握手。「日本もなかなかやるやん！」って感じで「サンキュー！」



SHも我らがフミ(田中)から、日和佐に交代。なんでやねん。確かにフミは京都産業大学時代から、球を持ちすぎるといふか、自分で何とかしようとするのが欠点だけど、今日は冴えとります。日和佐は、球出し早いけど、インパクトがありませんよ・なんて、素人は語りましたが、実はこれがエディー采配。日和佐投入でリズムが変わって、五郎丸のトライを呼び込む。ゴールも決まって同点。これは、歴史の証人になれるかも？



南アフリカPGで、得点は32対29。押せ押せムードのジャパンは、魂の攻撃。場内は、ジャパコールの嵐。ゴール前でペナルティー。リーチキャプテンの選択は、PGでなくタッチキック。同点より勝利を狙います。



モールでなだれ込んでTMO。「ノートライ」で日本ボールのスクラムに。スクラムサイドでペナルティー。スクラム選択、スクラムアゲイン。場内、大ジャパコール。願いはスクラムトライ、それとも認定...

スクラムからボールが出て展開。ラストパスを受けたのはヘスケス。JPピーターセンのタックルを振り払って左隅にトライ。勝利のトラ〜イ！！



歓喜のジャパン。茫然自失のスプリングボックス。観客席も歓喜。後ろの南アフリカサポーターもジャパンの頑張りに感動、あらためて固い握手を交わしました。場内もお祭りムードで、歓声鳴りやまず。勝利の余韻に浸って幸福です。(32対34)

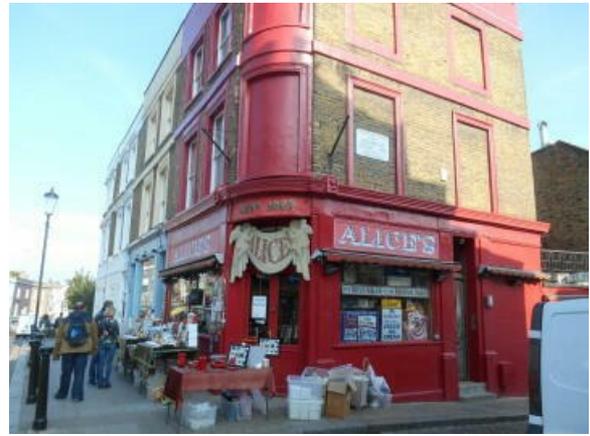
至福の時間から、帰ろうとすると、ジャパンのユニフォームを着てバックスタンドの最前列で大きな声を出して熱烈に応援していた私たちに祝福の言葉、握手にハグに、キスはやめて～！一緒に写真取ってくれよとせがまれ、ヒーロー扱いです。帰りのシャトルバス、電車とお祭り騒ぎで「ジャパ～ン！」なんて声があちこちから聞こえて、忘れることができない一日になりました。



参考まで、ブライトンは、ロンドンから南へ90km、海に面したリゾート地です。海にせり出すブライトンピアで遊んで、市内周遊バス小さな街を一周。プチ観光地として素敵ですが、日本ラグビーの歴史を変えた場所として後世に語り継がれるかもしれません。

### 3. ウェンブリー(9月20日・ニュージーランドVSアルゼンチン)

ウェンブリーに向かう前に周辺観光。まずは、ジュリア・ロバーツの映画の舞台になったノッティンゲルヒルを散策。書店の前で、ヒュー・グラント気分。お洒落なお店が並んで、トラッドなジャケットをつい購入しそうになりましたが、サイズや修繕のことを考え断念しました。



続いて、パディントンで熊さん退治。リトルベニスを見学。運河に船を浮かべて優雅に船上生活です。



アビーロードは、ビートルズのレコードジャケットが撮影された横断歩道。たくさんの人がここを撮影するもんだから交通渋滞が起こるばかりです。



サッカーの聖地、ウエンプリースタジアムは、9万人収容。駅からスタジアムまで一直線。スタジアムの天空をまたぐトラスアーチが目印です。中のパブでビールを飲んで、キックオフを待ちます。



オールブラックス(ニュージーランド)注目は、リッチー・マコウにダン・カーター。世界最高の攻撃と防御を誇る大本命。プーマーズ(アルゼンチン)は、展開と低いタックルが売り物で、ここの一番何をやらかすかに注目です。



マオリVSラテンは、両国国歌斉唱から、ハカカマテで集中力を高めていざキックオフ。プーマーズの絶え間ない連続攻撃を止める分厚いオールブラックスのディフェンス。ワールドカップに相応しい戦いは、26対16で決着。プーマーズの敗因は、マコウとコンラッド・スミスをイエローカードで欠いた時点で攻めきれなかったことと、ここの一番の攻撃が単調だったことですね。



翌日は、バスに揺られて世界遺産・ストーンヘンジを訪問。東海大仰星の前の監督(土井先生)に遭遇。試合の無い日は観光客しているんだと納得しました。太陽から時間を計算できる凄い構築物ですが、近寄って触れることができませんので、花園ラグビー場の入場門前にあるストーンヘンジの勝ち。



夜は、ピカデリーサーカス付近の劇場へ。「チャーリーとチョコレート工場」を本場で観賞しましたが、セリフも歌も英語だから、ちんぷんかんぷん。ジョニー・デップの映画を見て、原作を読んでいたからストーリーと登場人物のことは理解していますし、劇場は凄いいし、舞台装置と照明・音響にしばれます。歌やダンスが終われば拍手喝采で、雰囲気だけはしっかりと楽しむことができました。



次の日も、サイトシーイング。大英博物館でロゼッタストーンやエジプト文明のお宝拝見。感想は広すぎて大変。入場は「ただ」でお得ですが、お宝ばかりで飽きてきます。

続いて、グリーンパークからの～バッキンガム宮殿。エリザベス女王のお住まいをこの時期に限り一般に公開してくれるのですが、皇室コレクションの絵画に金ぴかの装飾品、場内撮影禁止ですか

ら、ぜひ現地を訪問して下さい。ただし、周辺にトイレがありませんので近い人はご用心下さい。あ  
～辛かった。



その夜は、The Albionなるパブにて、Facebookのお友達主催の「日本代表を励ます会」に参戦。元日本代表HOの坂田さんも同席して翌日のスコットランド戦の戦力分析と展望。ブライトンでの南アフリカ戦のビデオを観賞。プレーに感動、私たちが写ったシーンを確認、有意義な夜を日本代表サポーターの皆さんと過ごしました。

#### 4. グロスター(9月23日・スコットランドVS日本)

歴史を塗り替えたあの一戦の興奮から4日。グロスターの街は、お祭りカーニバルです。日本でもラグビーのプチブームになっているようで、こちらのマスコミにも注目され、にわか日本ファンの外人さんも増えたとか。ワールドカップ・オフィシャルショップでも、ジャパングッズが飛ぶように売れたそうで、追い風に乗って、「スコットランドにも勝つぞ～！勝つぞ～！そうだ～！」





スタンド付近で国際交流。花園ラグビー場でお見かけする顔、テレビ画面で涙を流してた方、元日本代表ロックの林さん、この旅行を通じて知り合った方など、日本代表サポーターが続々と集まります。大阪ラグビーファミリーの代表と相棒さんも、世界最薄ジャージを着て(いや、書いて?塗って?)取材を受けています。キルトスカート履いた頑丈なガタイのスコットランドサポーターも交えて、ワイワイガヤガヤ。パブでビールを買いにぞ出陣。ワクワクが止まりません。



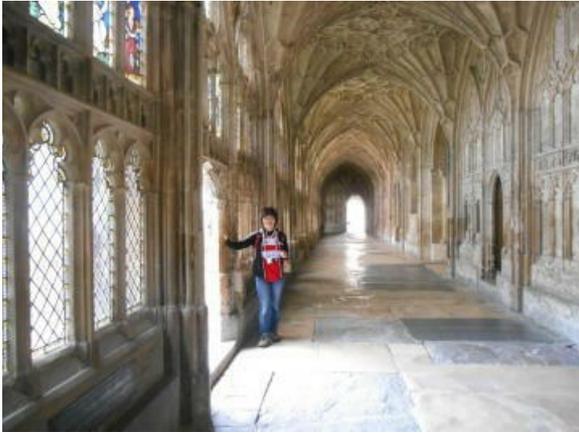
いざキックオフ。前半12対7って、トライを奪ったモールしかエエトコなし。ディフェンスが良くても、ハンドリングエラーが目立ちます。4日前のひたむきな姿はどこ行ったんや〜！お疲れでしょうか？ギャップの間は抜けられるし、ポロポロ落とすし、集中、集中なんて声援を送りましたが、結果45対10でフィニッシュ。

スコットランドは、相手チームを分析するのが上手いとか、伝統の力で圧倒するとか、いろいろな声がありますが、ピッチだけでなく、スタンドも「スコ〜ットランド！スコ〜ットランド！」なんて熱烈な応援にノックアウトされたかも・・・



次回の健闘を祈念し、ファミリーの皆さんと乾杯してロンドンに戻りました。  
なお、グロスターの観光は、ハリーポッターの撮影場所にもなったグロスター大聖堂。回廊が素敵で、堂内にあるカフェのサンドイッチ&スープのランチに舌鼓、ええ感じでした。





Top  
[トップ](#)  
[↑](#)

Back  
[戻る](#)



[2015ワールドカップ～イングランド（後編）](#)